

し も お お や ち 6 お お や ち 1
下大谷地Ⅵ遺跡 大谷地Ⅰ遺跡

- 市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 -

2017.3

宮古市教育委員会（岩手県）

し も お お や ち 6 お お や ち 1
下大谷地Ⅵ遺跡 大谷地Ⅰ遺跡

－ 市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 －

2017. 3

宮古市教育委員会（岩手県）

序 文

宮古市の歴史は、今から昔約 12,000 年前までさかのぼります。宮古市内にある約 680 もの遺跡には、先人たちが宮古の地で生きるために自然と向き合い、自然から学び、自然から多くを享受した暮らしの痕跡が残されています。

12,000 年前とは、縄文時代の草創期とされる頃で、この頃の遺跡は県内でもまだその数は限られています。宮古地域ではほかの地域に先駆けて人々が暮らしはじめていたこと示しているのかもしれませんが。

下大谷地VI遺跡と大谷地 I 遺跡は、縄文時代の遺跡とされています。

発掘調査では、約 1 万年前の縄文時代早期から前期とされる土器や石器が確認されました。なかでも縄文時代早期の遺跡は、市内で確認されている遺跡のなかでも比較的古い時代のものであり、宮古の歴史、成り立ちを考えるうえで貴重な成果が得られたと考えます。

最後に、発掘調査ならびに整理作業に多大なご協力をいただいた関係者、関係各位に感謝を申し上げ序文といたします。

平成 29 年 3 月

宮古市教育委員会
教育長 伊藤 晃二

例 言

1. 本書は、市道下大谷地花輪線道路改良事業に係る下大谷地VI、大谷地 I 遺跡発掘調査報告書である。
2. 発掘調査の主体は宮古市教育委員会である。発掘調査および本書の執筆、編集は安原が担当し、文化課職員がこれを補佐した。
3. 座標は平面直角座標系 X 系（世界測地系）に準拠した。
4. 高さは標高値をそのまま使用した。
5. 遺構の略記号は以下のとおりである。
SK ー 土坑跡

目 次

序 文

例 言

目 次

I 調査経過	1
1 調査に至る経過	1
2 調査概要	1
3 調査体制	2
II 遺跡の立地と環境	
1 遺跡の位置と立地	2
2 周辺の遺跡	3
III 下大谷地VI遺跡	
1 調査の方法	7
2 遺跡の基本層序	8
3 検出遺構と出土遺物	8
4 調査のまとめ	12
写真図版	19
IV 大谷地 I 遺跡	
1 調査の方法	13
2 検出遺構と出土遺物	14
4 調査のまとめ	17
写真図版	21
報告書抄録	27

挿図目次

第1図	宮古市位置図	2	第10図	SK1号土坑跡出土遺物(2)	10
第2図	周辺遺跡分布図	3	第11図	遺構外出土遺物	11
第3図	地形分類図	4	第12図	調査区位置図	13
第4図	調査地点位置図(1)	5	第13図	遺物包含層平面図・土層断面図	14
第5図	調査地点位置図(2)	7	第14図	遺物包含層出土遺物(1)	15
第6図	A区遺構配置図	7	第15図	遺物包含層出土遺物(2)	16
第7図	A区基本土層図	8	第16図	遺物包含層出土遺物(3)	17
第8図	SK1号土坑跡平面図・土層断面図	8	遺物観察表(1)	12	
第9図	SK1号土坑跡出土遺物(1)	9	遺物観察表(2)	18	

写真図版目次

写真図版1 下大谷地VI遺跡

- 1 調査区遠景(1)(西から) 19
- 2 調査状況(西から) 19

写真図版2 下大谷地VI遺跡

- 3 SK1号土坑跡 土層断面(西から) 20
- 4 SK1号土坑跡 完掘(西から) 20

写真図版3 大谷地I遺跡

- 5 A区現況(東から) 21
- 6 A区 調査状況(西から) 21
- 7 A区 完掘(西から) 21

写真図版4 下大谷地VI

- 8 SK1号土坑跡 出土遺物(1) 22
- 9 SK1号土坑跡 出土遺物(2) 22

写真図版5 下大谷地VI

- 10 SK1号土坑跡出土遺物(3) 23
- 11 SK1号土坑跡出土遺物(4) 23

写真図版6 大谷地I遺跡

- 12 遺物包含層出土遺物(1)-1 24
- 13 遺物包含層出土遺物(1)-2 24

写真図版7 大谷地I遺跡

- 14 遺物包含層出土遺物(2)-1 25
- 15 遺物包含層出土遺物(2)-2 25

写真図版8 大谷地I遺跡

- 16 遺物包含層出土遺物(3)-1 26
- 17 遺物包含層出土遺物(3)-2 26

I 調査経過

1 調査に至る経過

平成 19 年 10 月に宮古市教育委員会文化課と宮古市都市整備部建設課が、市道下大谷地花輪線改良事業について事前協議を行う。事業計画として、平成 20 年度から用地測量を実施し、平成 22 年度から工事着工したいとして協議する。工事は、工区を区切って複数年度にわたって実施する計画とのことから、埋蔵文化財調査は工事の進捗に併せて実施することとした。

文化課は、平成 20 年 12 月 22 日付け教文号外にて、事業予定地が下大谷地 I、II、III、IV、VI、大谷地 I 遺跡に該当するとして建設課に回答した。

下大谷地 VI 遺跡について、建設課から、平成 24 年 11 月 19 日付け建第 156 号で発掘通知がされた。岩手県教育委員会から平成 24 年 11 月 20 日付け教生第 4-209 号で試掘調査実施の勧告がされる。文化課は、平成 24 年 11 月 21 日～同年 11 月 29 日に試掘調査を実施した。

文化課は、平成 25 年 3 月 29 日付け教文第 1022 号にて、試掘調査により遺構・遺物が確認され本調査が必要として建設課に回答する。平成 25 年 11 月 14 日～同年 11 月 28 日に本調査を実施。

大谷地 I 遺跡について、建設課から、平成 25 年 11 月 7 日付け建第 163 号で発掘通知がされた。

岩手県教育委員会から、平成 25 年 11 月 8 日付け教生第 4-166 号で試掘実施の勧告がされる。

文化課は、平成 25 年 11 月 18 日～同年 11 月 26 日に試掘調査を実施した。

文化課は、平成 26 年 3 月 31 日付け教文第 1040 号にて、本調査が必要として建築課に回答する。平成 26 年 8 月 4 日～同年 8 月 7 日に本調査を実施。

平成 28 年 1 月 12 日～同年 2 月 26 日に資料整理作業を実施。

これから継続して、平成 28 年 4 月 5 日～29 年 2 月 9 日に資料整理作業を実施。

平成 29 年 3 月に発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行した。

2 調査概要

下大谷地 VI 遺跡

所在地 宮古市八木沢第 9 地割内

調査期間 (平成 24 年度) 試掘調査 平成 24 年 11 月 21 日～同年 11 月 29 日

(平成 25 年度) 本調査 平成 25 年 11 月 14 日～同年 11 月 28 日

大谷地 I 遺跡

所在地 宮古市花輪第 18 地割内

調査期間 (平成 25 年度) 試掘調査 平成 25 年 11 月 18 日～同年 11 月 26 日

(平成 26 年度) 本調査 平成 26 年 8 月 4 日～同年 8 月 7 日

(平成 27 年度) 資料整理 平成 28 年 1 月 12 日～同年 2 月 26 日

(平成 28 年度) 資料整理 平成 28 年 4 月 5 日～29 年 2 月 9 日

3 調査体制

調査主体	宮古市教育委員会	教育長	佐々木 敏夫（～平成 25 年 8 月）
		教育長	伊藤 晃二（平成 25 年 8 月～）
調査総括	竹下 将男	宮古市教育委員会文化課長	（～平成 26 年度）
	高橋 憲太郎	〃	文化課長（平成 27 年度～）
事務担当	鎌田 祐二	〃	文化課埋蔵文化財センター所長（平成 28 年度～）
調査員	江口邦泰	〃	文化課主任文化財調査員（平成 28 年度～）
	安原 誠	〃	文化課主任文化財調査員（下大谷地VI遺跡本調査・報告書担当）
	長谷川真	〃	文化課主任学芸員（下大谷地Ⅱ、Ⅵ遺跡試掘調査担当）
	千葉剛史	〃	文化課学芸員（大谷地Ⅰ遺跡本調査担当）
	伊藤正人	〃	文化課主任文化財調査員（平成 28 年 4 月～ 名古屋市派遣）
	阿部 豊	〃	文化課埋蔵文化財発掘調査員
	前川友宏	〃	文化課埋蔵文化財調査員
	赤沼みちる	〃	文化課埋蔵文化財調査員

発掘調査作業員

大下義文 扇田正義 坂本晃 佐々木壽郎 佐々木信晴 澤田榮夫 鈴木祥一
野崎秀人 三浦功 三上武一 山口道義 山根保行 米澤豊 三上武一

資料整理作業員

越田真理子 佐々木信晴 坂本晃 中沢美智子 三浦功 三上武一 村松光子

Ⅱ 遺跡の立地と環境

1 遺跡の位置と立地

宮古市は日本を代表する漁場のひとつ三陸海岸の中央部に位置し、本州最東端の町としても知られる。平成 17 年 6 月に宮古市・田老町・新里村と合併し、平成 22 年 1 月に川井と合併した。市域は面積は 1,259K m²、人口は 55,000 人である。

宮古市の地形は、主な河川である閉伊川、八木沢川、津軽石川とその支流により形成された谷底地形、氾濫平野があるほかは、そのほとんどが山地もしくは丘陵地形となっている。

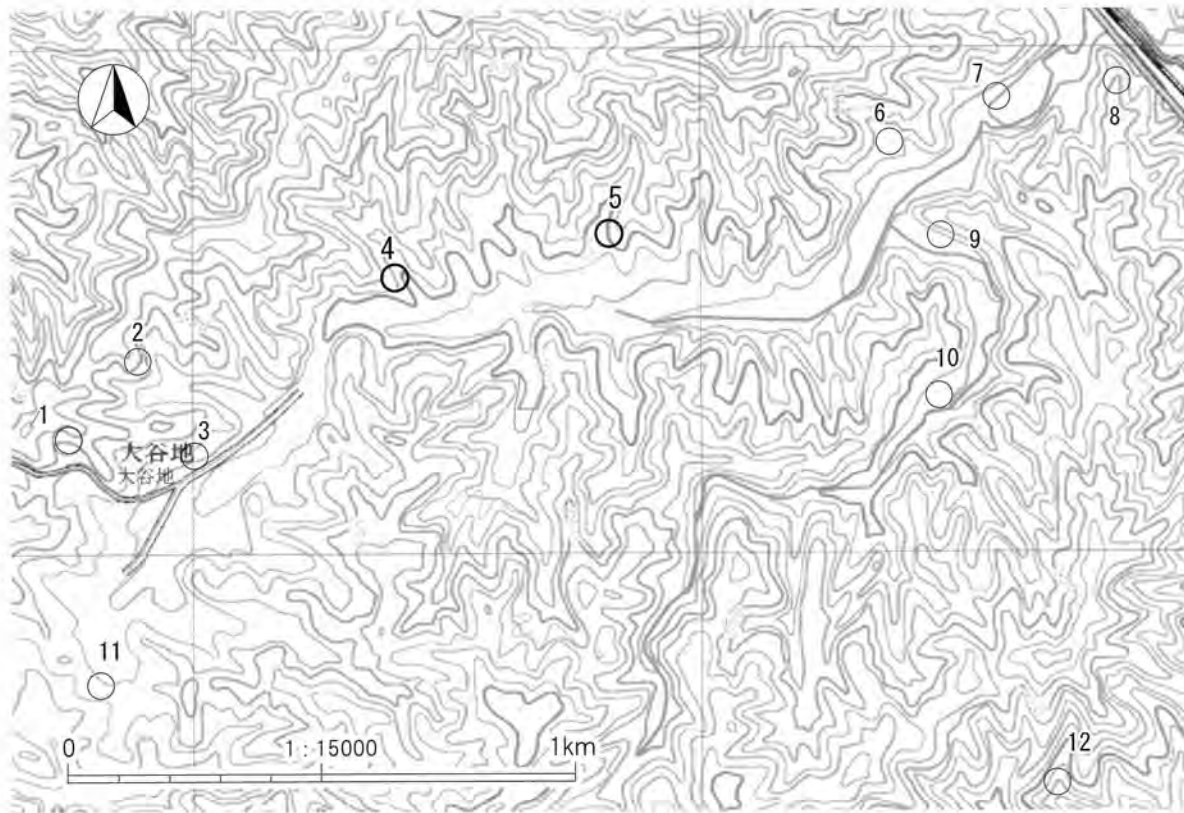
下大谷地VI遺跡、大谷地Ⅰ遺跡は、八木沢川の左岸となる丘陵地にあり、下大谷地VI遺跡は、北緯 39° 35′ 50″・東経 141° 55′ 15″、大谷地Ⅰ遺跡は、北緯 39° 35′ 49″・東経 141° 55′ 9″ に位置する。



第 1 図 宮古市位置図

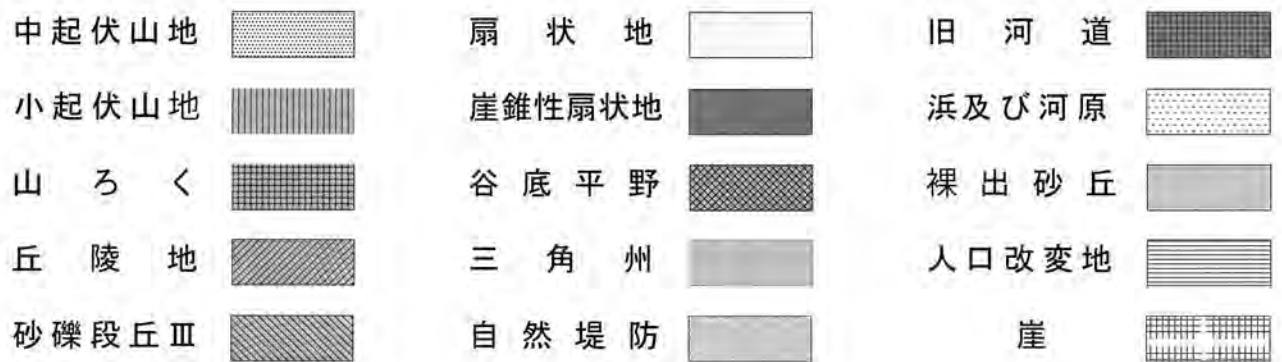
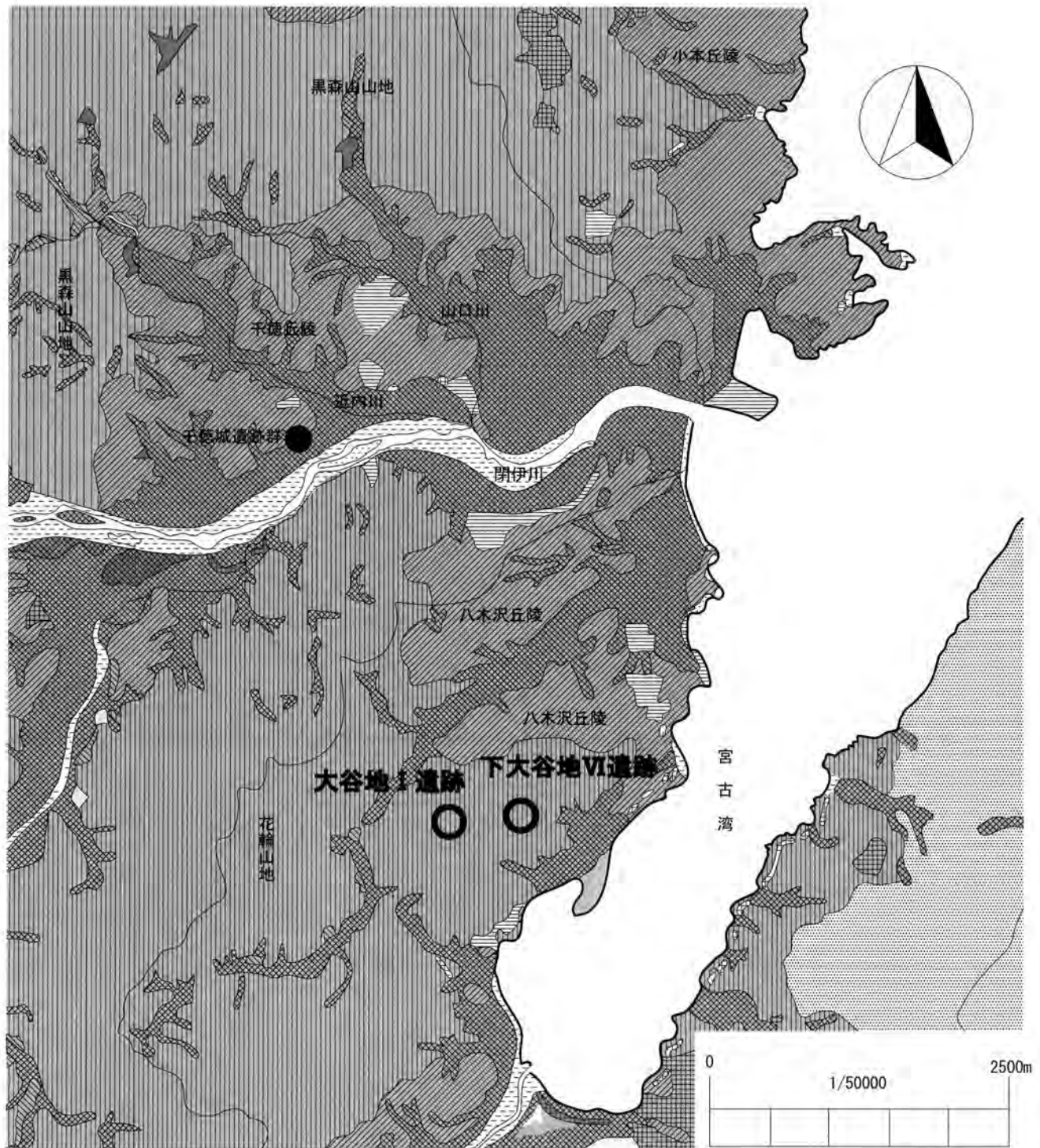
2 周辺の遺跡

下大谷地VI遺跡、大谷地I遺跡は丘陵地にあり、周辺の遺跡も八木沢川の両岸の丘陵地に沿って確認されている。縄文時代とされる遺跡が多くを占めるが、八木沢館や八木沢古館といった中世の城館跡とされる遺跡も周辺に点在する。下大谷地VI遺跡、大谷地I遺跡ともにこれまで発掘調査が行われたことはない。ただし、遺跡から約1.5kmほど東側へいったところでは三陸沿岸道整備に伴い大規模な発掘調査が複数の遺跡で行われており、縄文時代～中世にかけての貴重な資料が数多く確認されている。

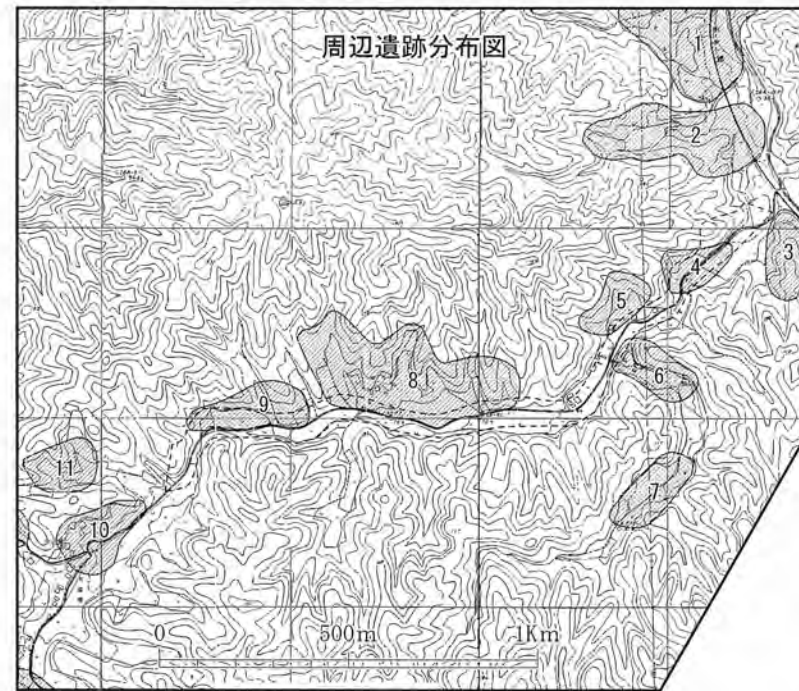
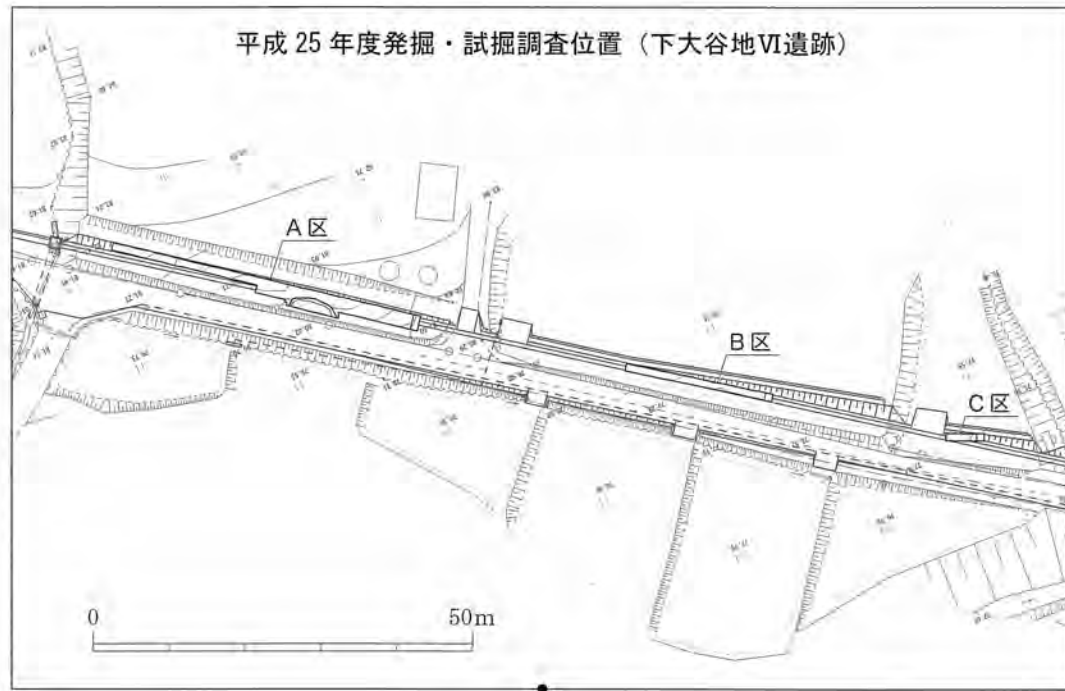


No.	遺跡名	遺跡コード	種別	時代	遺構・遺物
1	大谷地IV	LG43-2076	散布地	縄文	縄文土器
2	大谷地III	LG43-2068	散布地		羽口、鉄滓
3	大谷地II	LG43-2170	集落跡	縄文	縄文土器（早～中期）、鉄滓
4	大谷地I	LG43-2143	散布地	縄文	縄文土器
5	下大谷地VI	LG43-2147	散布地	縄文	縄文土器（前～後期）、鉄滓
6	下大谷地III	LG43-2222	散布地	縄文	縄文土器、鉄滓
7	下大谷地II	LG43-2204	集落跡	縄文	縄文土器（前・中期）
8	下大谷地I	LG43-2206	散布地	縄文	縄文土器（前・中期）
9	下大谷地IV	LG43-2233	散布地	縄文	縄文土器
10	下大谷地V	LG43-2264	散布地	縄文	鉄滓
11	大谷地V	LG53-0027	散布地	縄文	縄文土器
12	馬越II	LG53-0246	集落跡	古代	土師器、鉄滓

第2図 周辺遺跡分布図

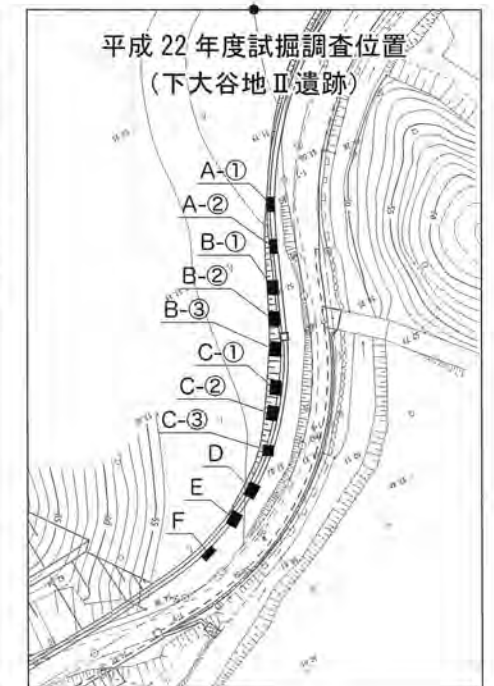
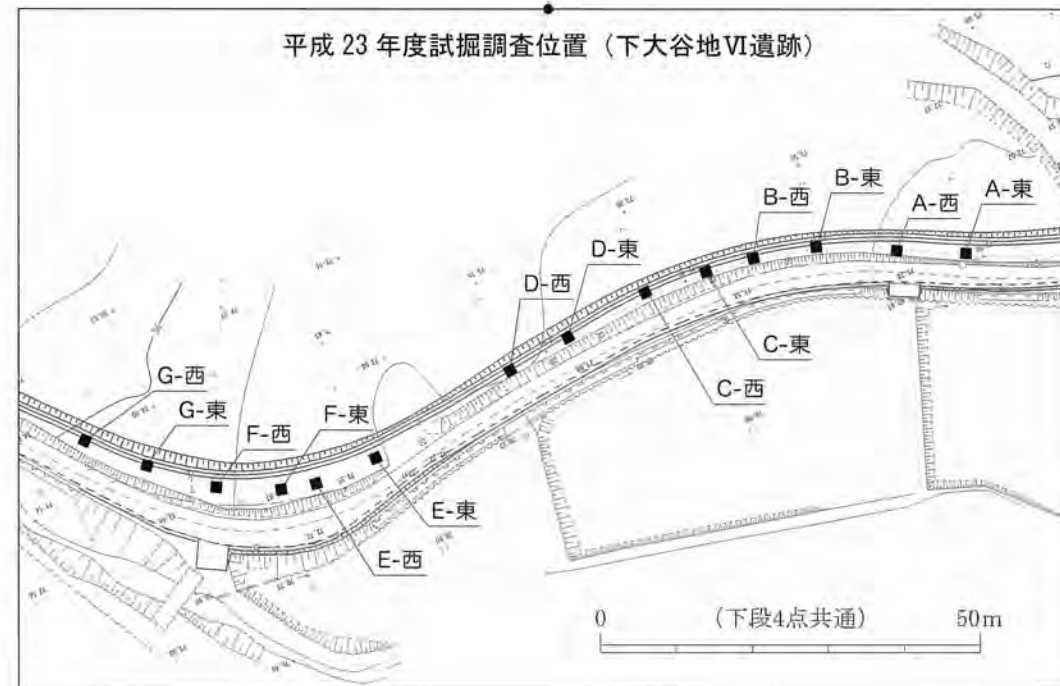
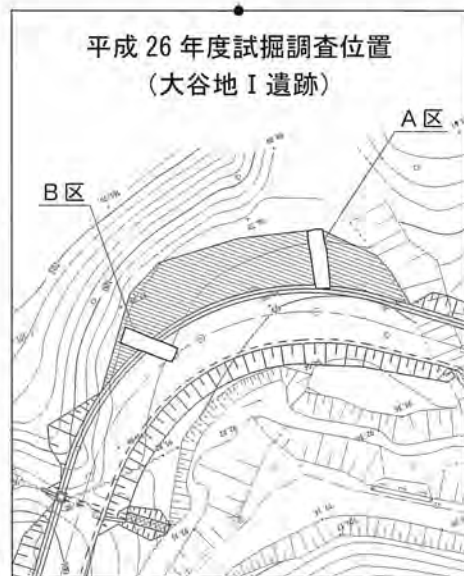
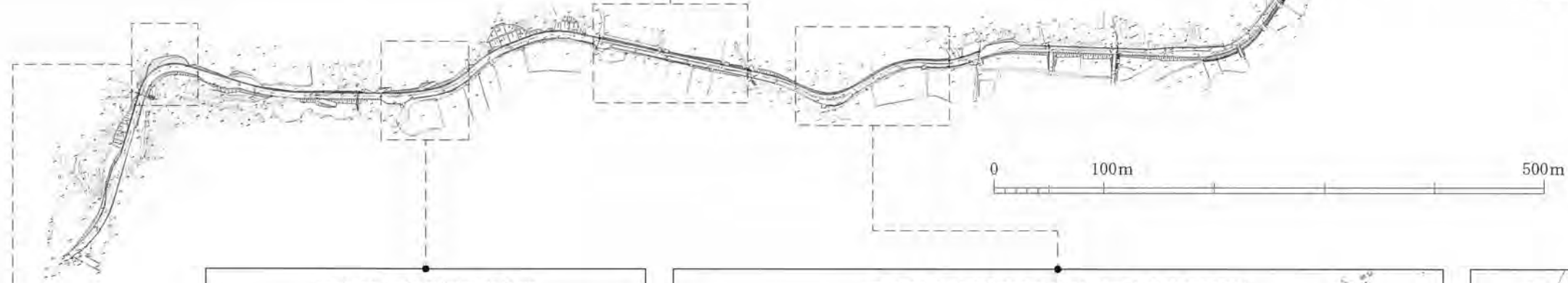


第3図 地形分類図



- 1：八木沢駒込II遺跡
- 2：八木沢野来遺跡
- 3：下大谷地I遺跡
- 4：下大谷地II遺跡
- 5：下大谷地III遺跡
- 6：下大谷地IV遺跡
- 7：下大谷地V遺跡
- 8：下大谷地VI遺跡
- 9：大谷地I遺跡
- 10：大谷地II遺跡
- 11：大谷地III遺跡

岩手県遺跡情報検索システム（平成 27 年度データ） H28 年 3 月 より

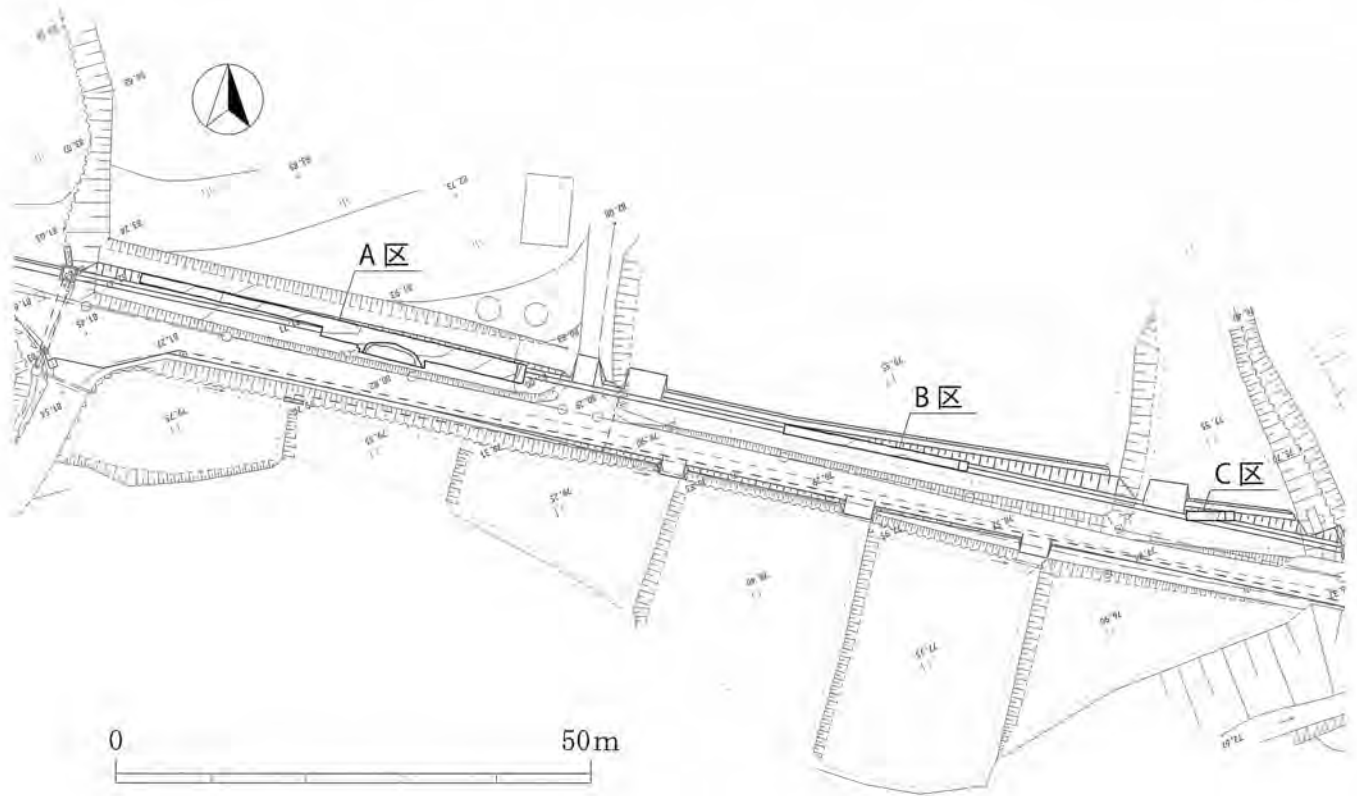


第 4 図 調査地点位置図 (1)

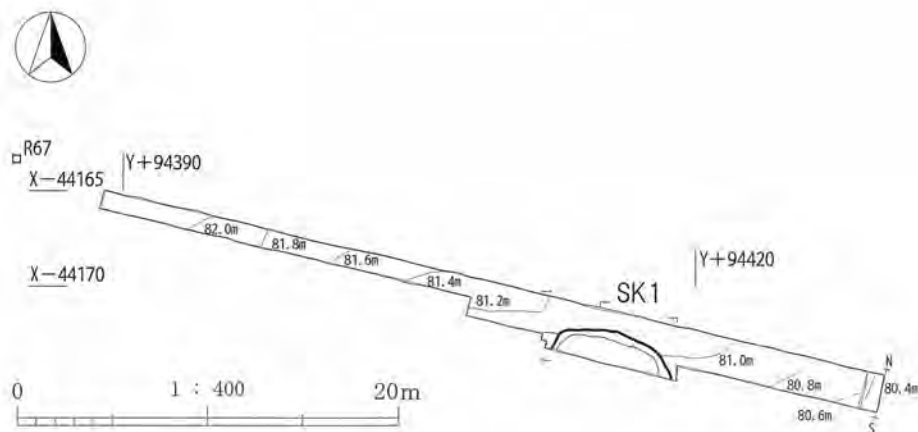
Ⅲ 下大谷地Ⅵ遺跡

1 調査の方法

調査区の現況は畑地である。調査対象面積は 558 m²である。平成 24 年 11 月に対象地域の試掘調査を実施した。試掘調査の結果により遺構・遺物が確認された 20 m²について本調査を実施することとした。



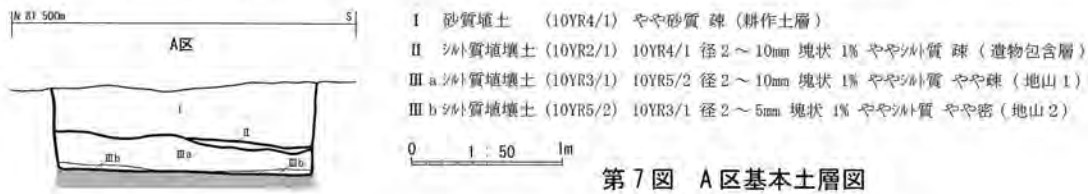
第 5 図 調査地点位置図 (2)



第 6 図 A 区遺構配置図

2 遺跡の基本層序

調査区の基本土層を確認するため、調査区東側で基本土層図を作成した。

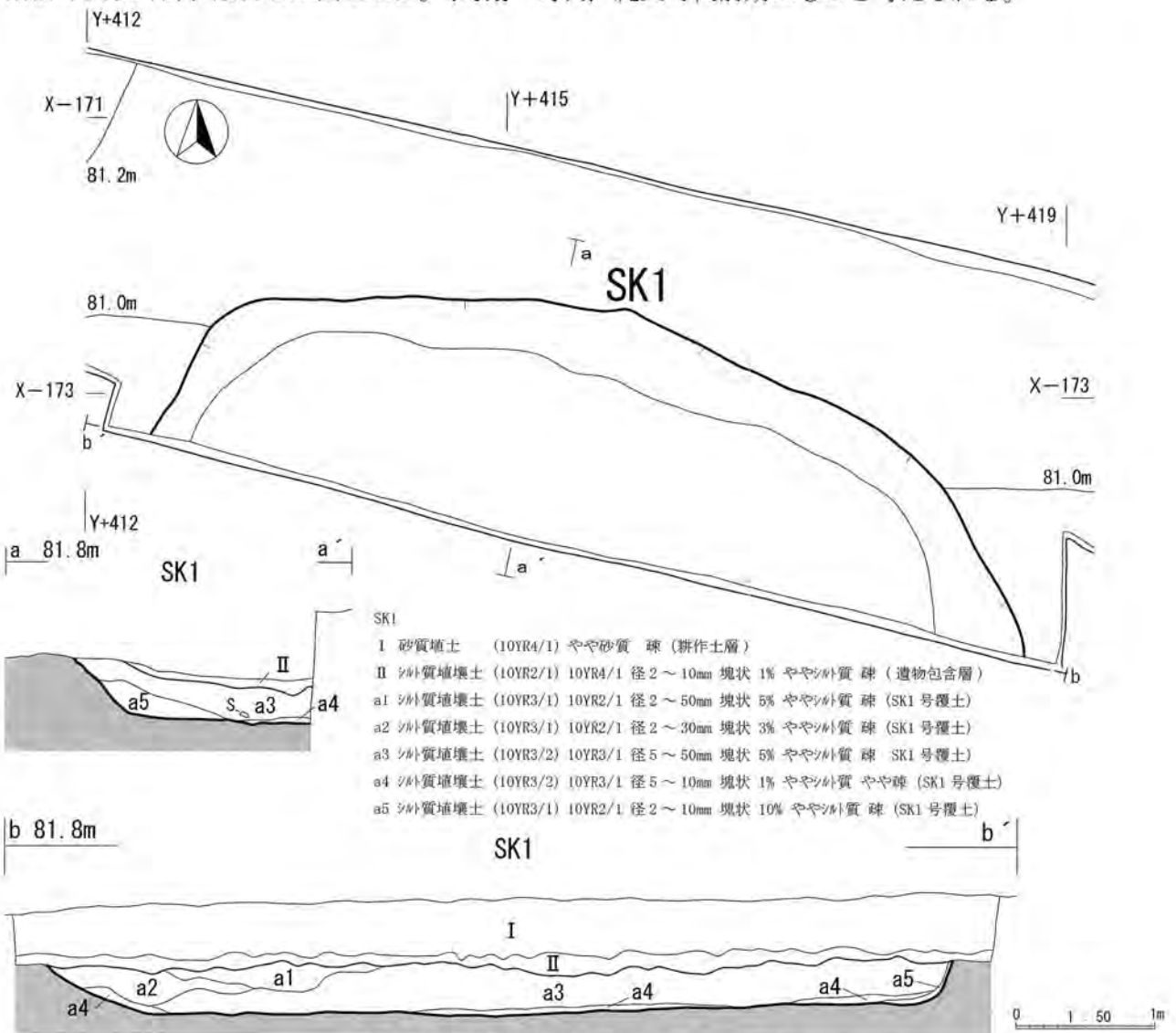


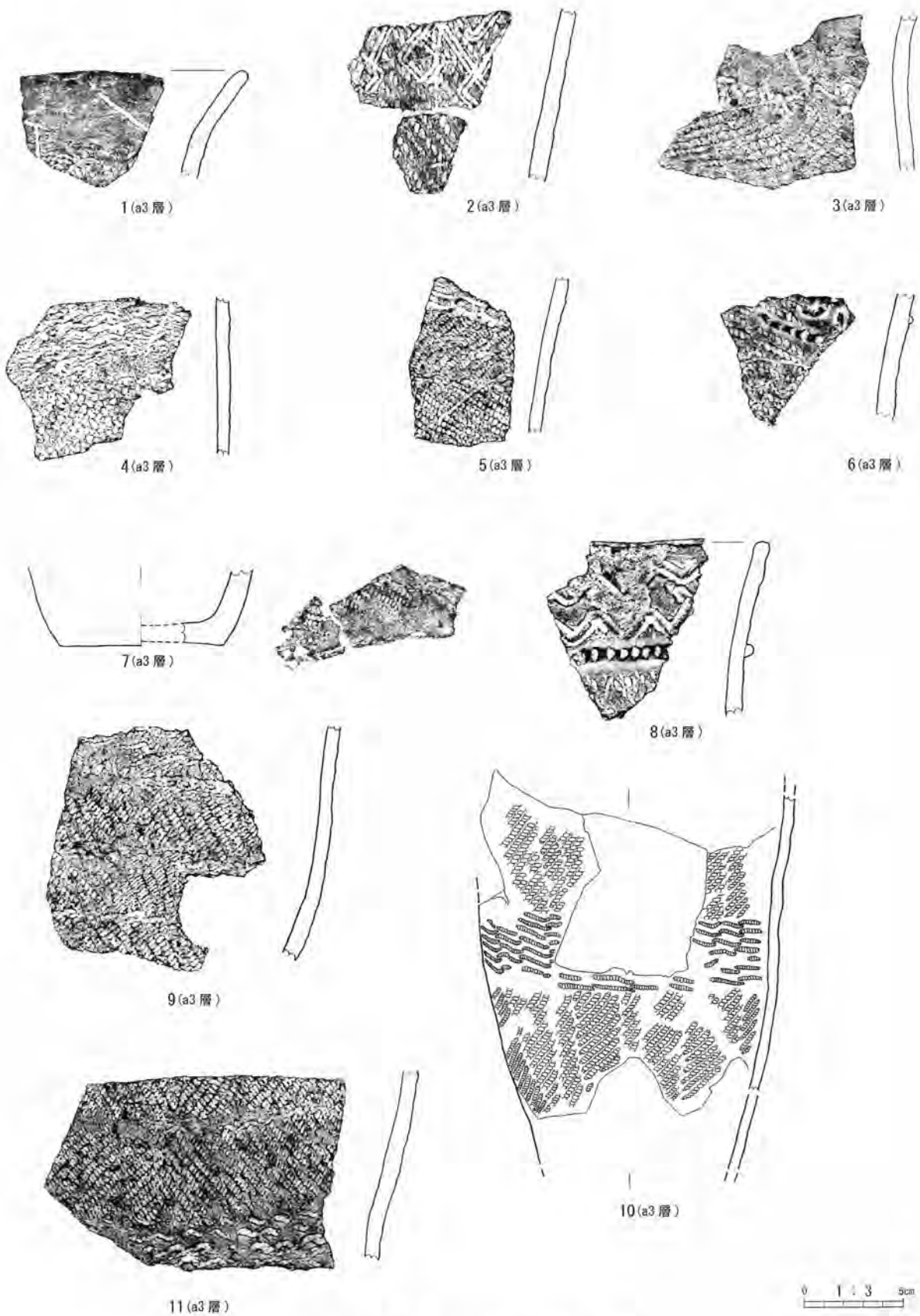
3 検出遺構と出土遺物

SK1号土坑跡 (第8~10図)

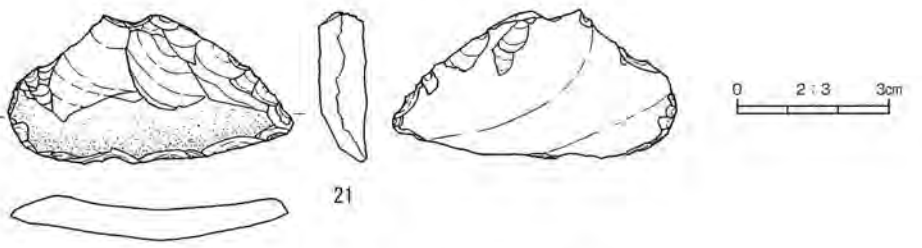
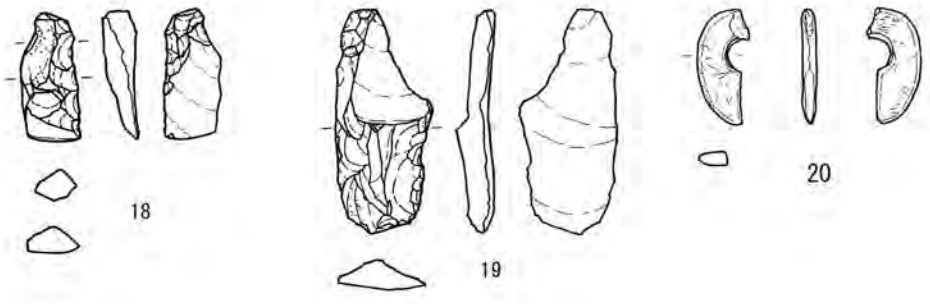
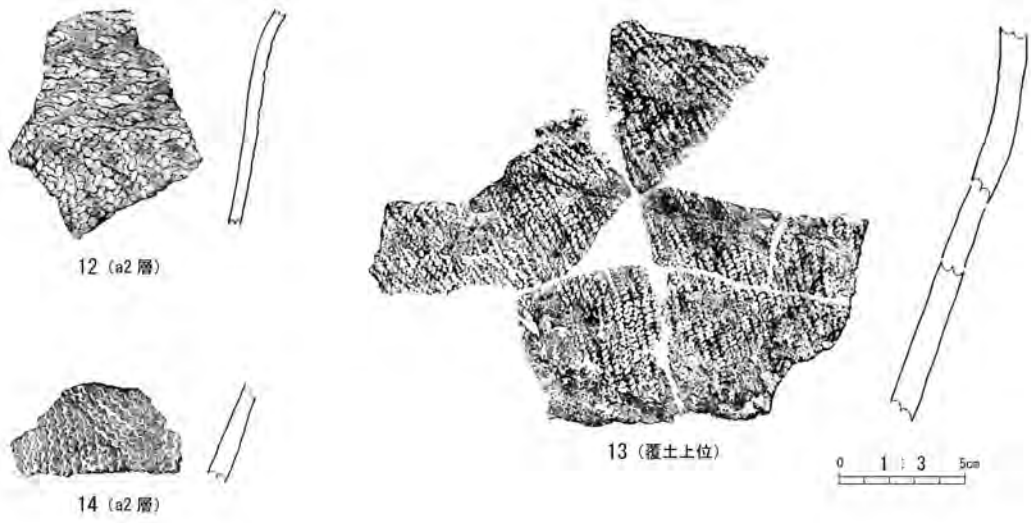
〈検出状況〉調査区東側、IIIa層で半円形の掘り込み跡を確認した。

〈規模・形態〉遺構南側は、現道工事により掘削され消失しており、掘削を免れた北側部分を調査した。大きさは土層断面部分で南北2.69m、東西6.24m、深さ0.48mである。本来は略円形の掘り込みであったと想定される。他の遺構との重複はない。覆土は5層に細別され自然堆積と考えられる。底面は平坦であるが、炉跡や柱穴跡は確認されなかった。〈出土遺物〉a3層中から深鉢片が出土した。また、削器や挾状耳飾、敲打石が出土した。〈時期・時代〉縄文時代前期のものと考えられる。

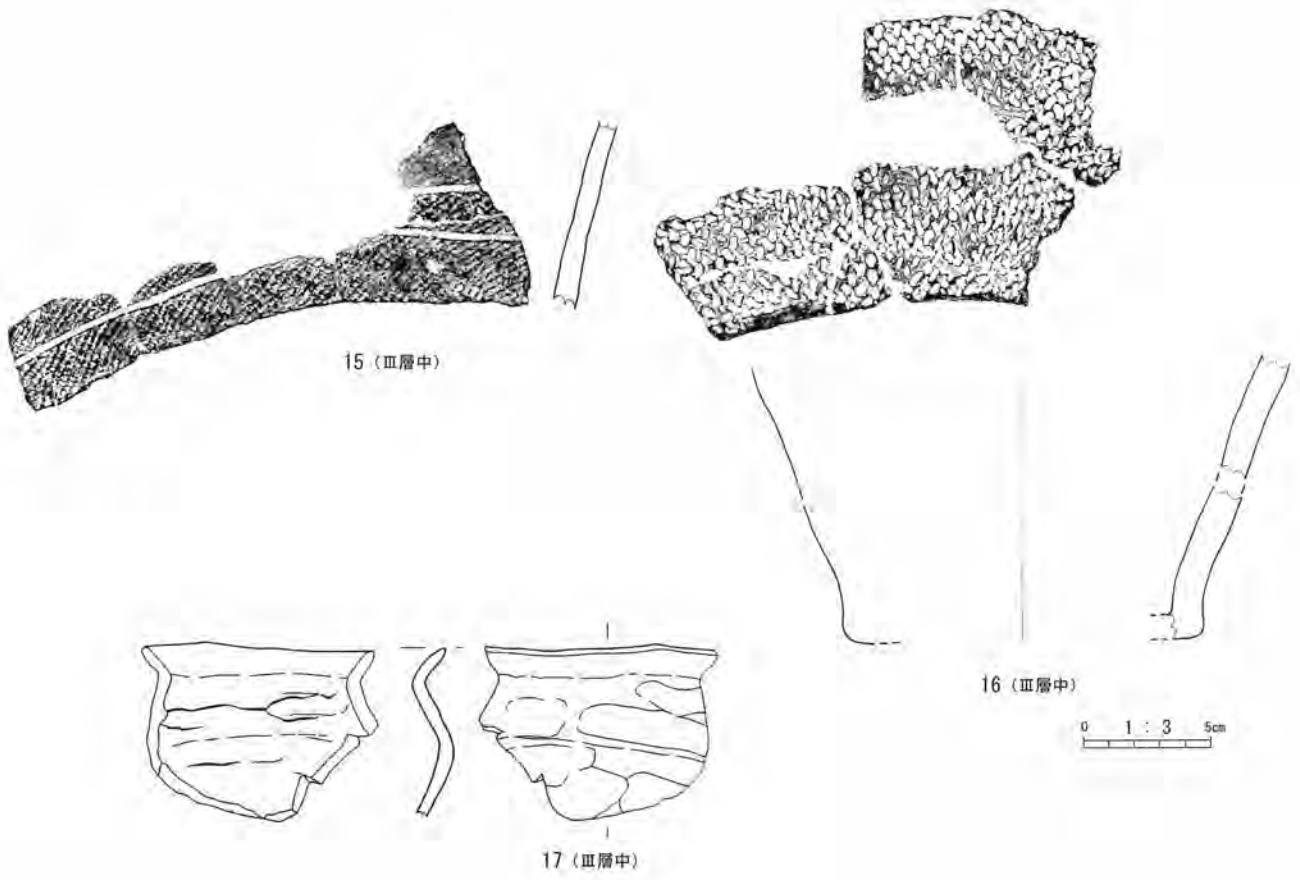




第9圖 SK1号土坑跡出土遺物(1)



第 10 図 SK1 号土坑跡出土遺物 (2)



第 11 図 遺構外出土遺物

4 調査のまとめ

今回の調査では縄文時代前期の遺構が確認された。同じ八木沢川流域では、八木沢野来遺跡で縄文前期前葉～中葉の土器を含む遺物包含層が確認されている。また、金浜Ⅰ遺跡では、縄文時代早期～晩期の土器が確認されている。

SK1号土坑跡は縄文時代前期前半のものである。ただし、遺構の大半が市道工事により消失していたため、今回の調査では遺構の性格までは特定できなかった。遺構の形状や底面が平坦であることを考えると堅穴住居跡の可能性も考えられる。

周辺において同時期とみられる遺構は、八木沢野来遺跡で堅穴住居跡が確認されている。金浜Ⅰ遺跡や八木沢駒込Ⅰ遺跡、賽の神遺跡では縄文前期の土器が包含層や遺構外から出土している。

縄文前期を遡って縄文早期の貝殻文土器もわずかであるが出土している。八木沢野来遺跡でも早期の押型文や貝殻文土器が出土している。同書の大谷地Ⅰ遺跡では縄文早期中頃の遺物包含層が確認されている。これまでの調査成果と併せて、下大谷地Ⅵ遺跡も含めて八木沢川流域では縄文時代早期から集落が流域に点在していたことがあらためて確認できたと考える。

(参考文献)

1992『金浜Ⅰ遺跡 大付遺跡発掘調査報告書』宮古市埋蔵文化財調査報告書 30

2008『賽の神Ⅱ遺跡・賽の神遺跡・下大谷地Ⅰ遺跡・八木沢野来遺跡第1次発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 511 集

2008『八木沢野来遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 573 集

遺物観察表 (1)

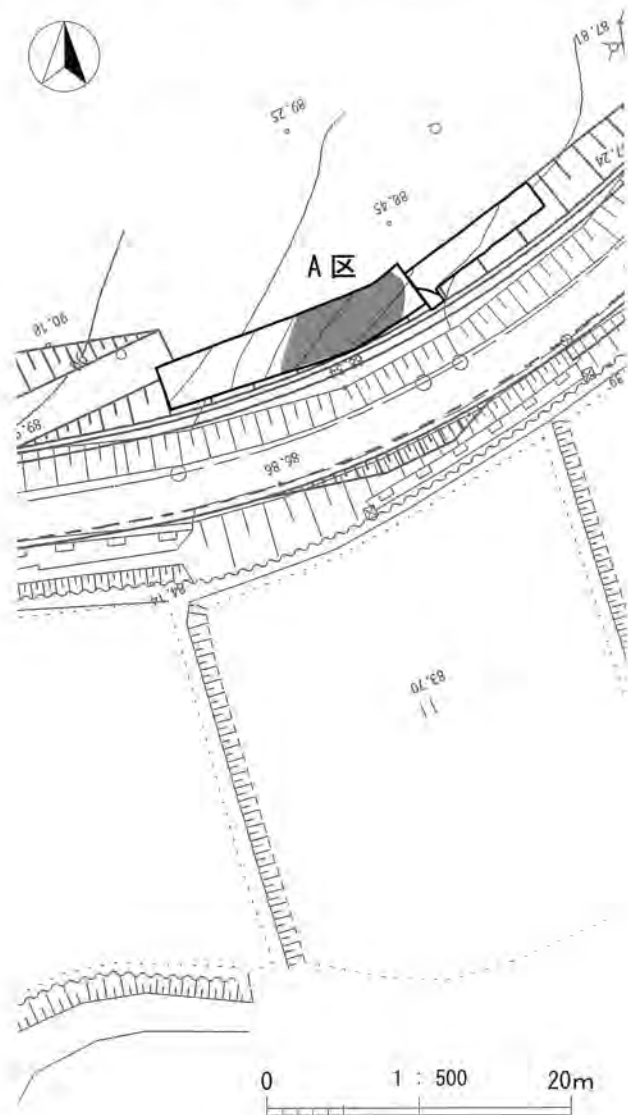
No.	出土地点	層位	器種	部位	外面	内面	備考
1	SK1	覆土上位	深鉢	口縁部	地文	ナデ	
2	SK1	覆土上位	深鉢	胴部	沈線・横位単節 RL	ナデ	縄文早期中頃(?)
3	SK1	a1 層中	深鉢	胴部	捺糸文(?)・縦位単節 RL	ナデ	
4	SK1	覆土下位	深鉢	胴部	不整捺糸文	ナデ	
5	SK1	覆土下位	深鉢	胴部	捺糸文・結束縄文	ナデ	
6	SK1	a1 層中	深鉢	胴部	地文・貼付・刺突	ナデ	
7	SK1	a2 層上位	深鉢	底部	横位 RL	ナデ	
8	SK1	a1 層中	深鉢	口縁部	地文・貼付・刺突・沈線	ナデ	No.6 と同一個体
9	SK1	a1 層中	深鉢	胴部	結束縄文	ナデ	
10	SK1	a3 層中	深鉢	胴～底部	縦位単節 RL・捺糸文	ナデ	
11	SK1	a1 層中	深鉢	胴部	結束縄文・捺糸文	ナデ	
12	SK1	a2 層上位	深鉢	胴部	捺糸文・地文	ナデ	
13	SK1	覆土上位	深鉢	胴部下半	斜位(?) 単節 RL	ナデ	
14	SK1	a2 層上位	深鉢	胴部	貝殻腹縁文	ナデ	
15	遺構外	Ⅲ層中	深鉢	胴部上半	地文・沈線	ナデ	
16	遺構外	Ⅲ層中	深鉢	胴部下半～底部	地文	ナデ	
17	遺構外	Ⅲ層中	甕	口縁～胴部	ナデ	ナデ	土師器 10世紀代

No.	出土地点	層位	器種	タテ (cm)	ヨコ (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
18	SK1	a2 層中	削器	2.5	1.1	0.5	1.7	
19	SK1	覆土上位	削器	4.4	1.9	0.6	3.4	
20	SK1	a1 層上位	扶状耳飾	2.3	0.6	0.3	0.9	1/2 欠損
21	SK1	覆土上位	削器	2.9	5.6	0.9	14.4	
22	SK1	覆土上位	敲打石	9.4	6.0	4.2	373.9	

IV 大谷地 I 遺跡

1 調査の方法

調査区の現況は荒蕪地である。道路事業面積は4,300㎡である。平成26年8月に試掘調査を行い、遺物が確認された58㎡について本調査を実施することとした。



第12図 調査区位置図

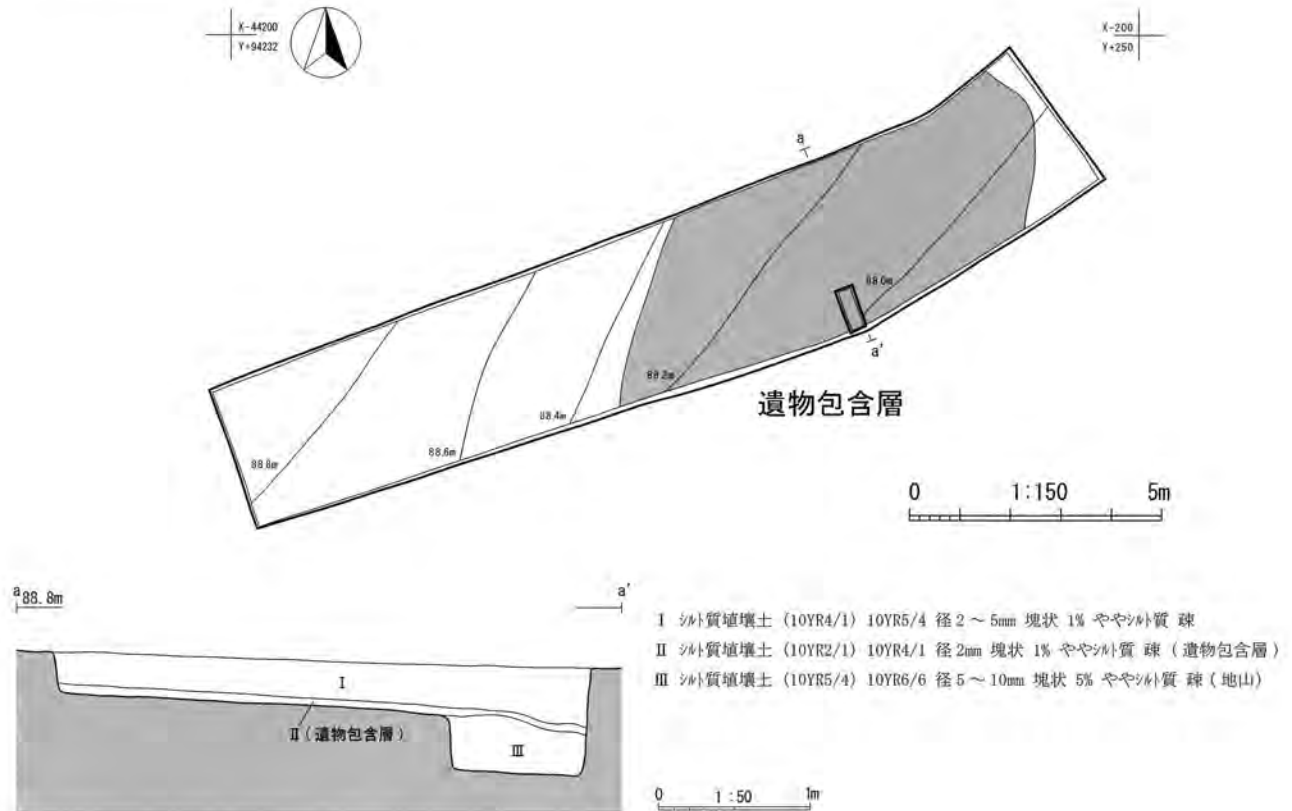
2 検出遺構と出土遺物

遺物包含層（第13～16図）

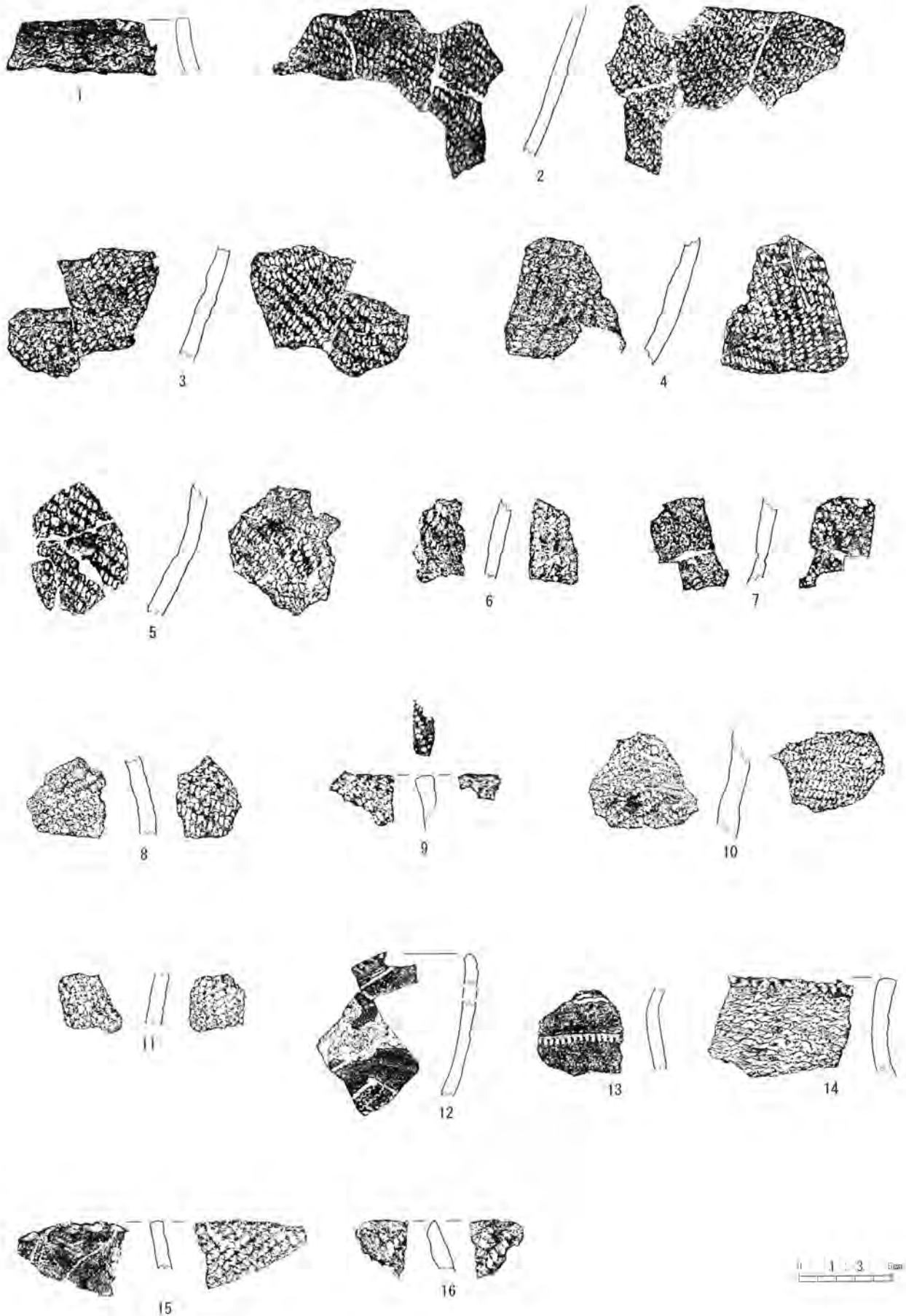
〈検出状況〉 A区東側で縄文土器を含む遺物包含層を検出した。

〈規模・形態〉 範囲は、南北6.6m、東西8.2m、層厚は0.06mである。遺物包含層中、また、この下位から遺構は確認されなかった。包含層は1層のみで自然堆積と考えられる。

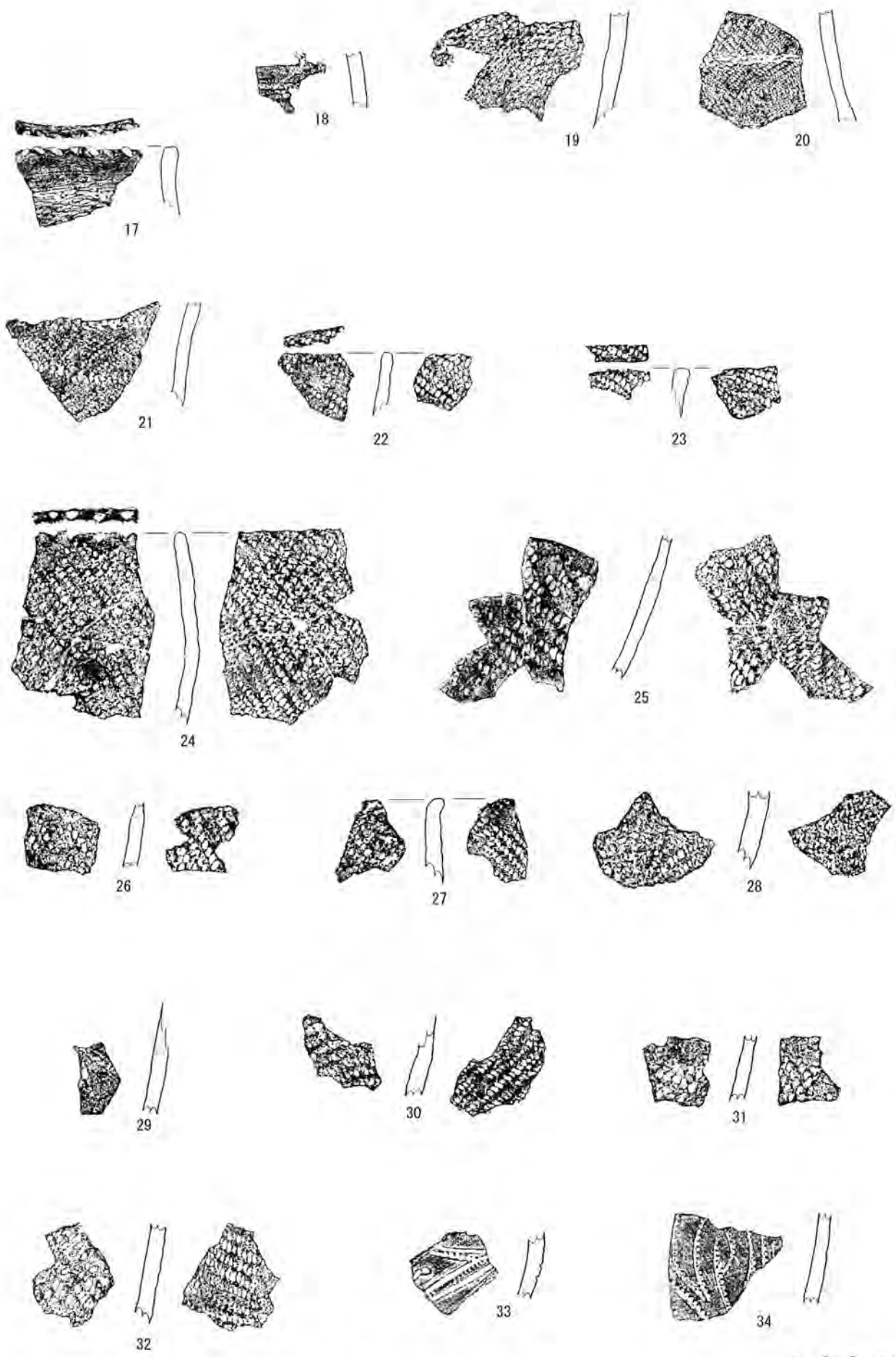
〈出土遺物〉 遺物包含層中から縄文早期～前期の深鉢片、石鏃、削器、礫石器が出土した。〈時期・時代〉 縄文時代前期のものと考えられる。



第13図 遺物包含層平面図・土層断面図

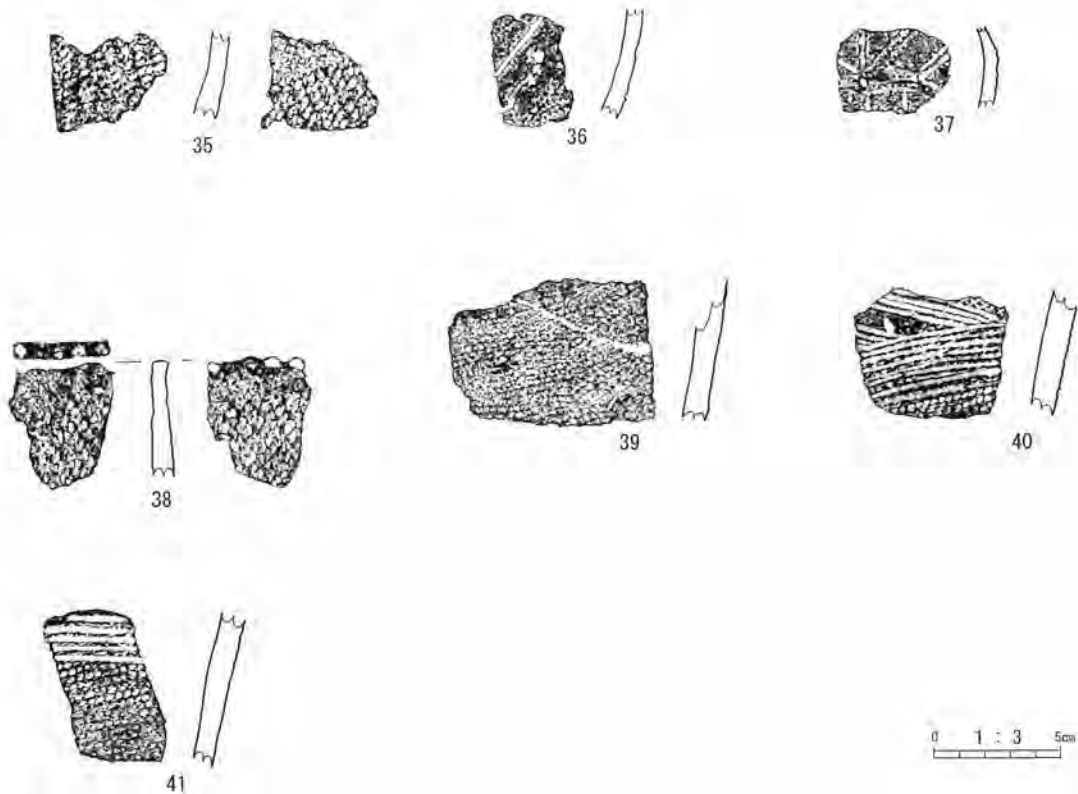


第 14 圖 遺物包含層出土遺物 (1)



第 15 圖 遺物包含層出土遺物 (2)

0 1 3 5cm



第 16 図 遺物包含層出土遺物 (3)

4 調査のまとめ

調査は、遺物包含層が確認されていた地点を中心に調査区を拡張し、包含層の広がりとその付近での遺構の有無を確認した。

結果、遺物包含層は、縄文時代前期のものであることが確認された。遺物包含層は、縄文前期の土器が多く、この他に縄文早期中葉～後葉頃の貝殻沈線文と表裏縄文の土器も含まれていた。遺物包含層の他にこの時期の遺構は今回の調査では確認されなかったが、調査区の北側もしくは周辺に縄文時代早期～前期の集落跡が存在する可能性が考えられる。

縄文時代早期の資料として、市内小沢にある押殿峠遺跡や津軽石大森遺跡、日の出町Ⅱ遺跡でも早期の縄文土器が出土している（報告書今後刊行予定）。復興事業により市内各所で大規模に発掘調査が行われるなかで資料が増えつつあり、また、これまでよりもまとまりをもって出土している。今後はこれら近年の資料も踏まえ、大谷地Ⅰ遺跡の資料の比較検討を進めていく必要がある。

遺物観察表 (2)

No.	出土地点	層位	部位	外面	内面	胎土	備考	遺物No.
1	遺物包含層	II層	口縁部	撚糸文	ナデ	-	-	167
2	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	-	168
3	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	-	169
4	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	内面摩滅	170
5	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	内外面摩滅	171
6	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	内外面摩滅	172
7	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内外面摩滅	173
8	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	内外面摩滅	174
9	遺物包含層	II層	口縁部	地文	地文	-	口唇部原体押圧	175
10	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	地文	繊維含む	-	176
11	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	地文	-	内面摩滅	177
12	遺物包含層	II層	口縁部	貝殻腹縁圧痕・沈線	ナデ	-	-	178
13	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕	ナデ	-	-	179
14	遺物包含層	II層	口縁部	(不整?) 撚糸文	ナデ	-	口唇部刺突文	180
15	遺物包含層	II層	口縁部	単節 RL	ナデ	-	-	181
16	遺物包含層	II層	口縁部	地文	地文	-	内外面摩滅	182
17	遺物包含層	II層	口縁部	(不整?) 撚糸文	ナデ	繊維含む	口唇部原体押圧	183
18	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕・刺突文	-	-	-	184
19	遺物包含層	II層	胴部	地文	-	繊維含む	-	185
20	遺物包含層	II層	胴部	羽状縄文	ナデ	繊維含む	-	186
21	遺物包含層	II層	胴部	結束縄文(?)	ナデ	繊維含む	-	187
22	遺物包含層	II層	口縁部	地文 口唇部原体押圧	地文	-	内外面摩滅	188
23	遺物包含層	II層	口縁部	単節 RL	単節 RL	-	口唇部原体押圧	189
24	遺物包含層	II層	口縁部	単節 RL 口唇部刺突文	単節 RL	-	(No. 25 と同一個体か)	190
25	遺物包含層	II層	胴部	単節 RL	単節 RL	-	(No. 24 と同一個体か)	191
26	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	192
27	遺物包含層	II層	口縁部	地文	地文	-	内面摩滅	193
28	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	194
29	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕・刺突文	ナデ	-	-	195
30	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	196
31	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	197
32	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	198
33	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	199
34	遺物包含層	II層	口縁部	貝殻腹縁圧痕・沈線・刺突文	ナデ(?)	-	-	200
35	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕・刺突文	ナデ(?)	-	-	201
36	遺物包含層	II層	胴部	地文	地文	-	内面摩滅	202
37	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕・沈線・刺突文	ナデ	-	-	203
38	遺物包含層	II層	胴部	貝殻腹縁圧痕・沈線・刺突文	ナデ(?)	-	-	204
39	遺物包含層	II層	口縁部	地文	地文	-	口唇部刺突文	205
40	遺物包含層	II層	胴部	地文・沈線	ナデ	-	No. 41 と同一個体	206
41	遺物包含層	II層	胴部	地文・沈線	ナデ	-	No. 40 と同一個体	207

写真図版 1

下大谷地VI遺跡



1 調査区遠景 (I) (西から)



2 調査状況 (西から)

写真図版 2

下大谷地VI遺跡



3 SK1号土坑跡 土層断面（西から）



4 SK1号土坑跡 完掘（西から）

写真図版 3
大谷地 I 遺跡



5 A区現況（東から）

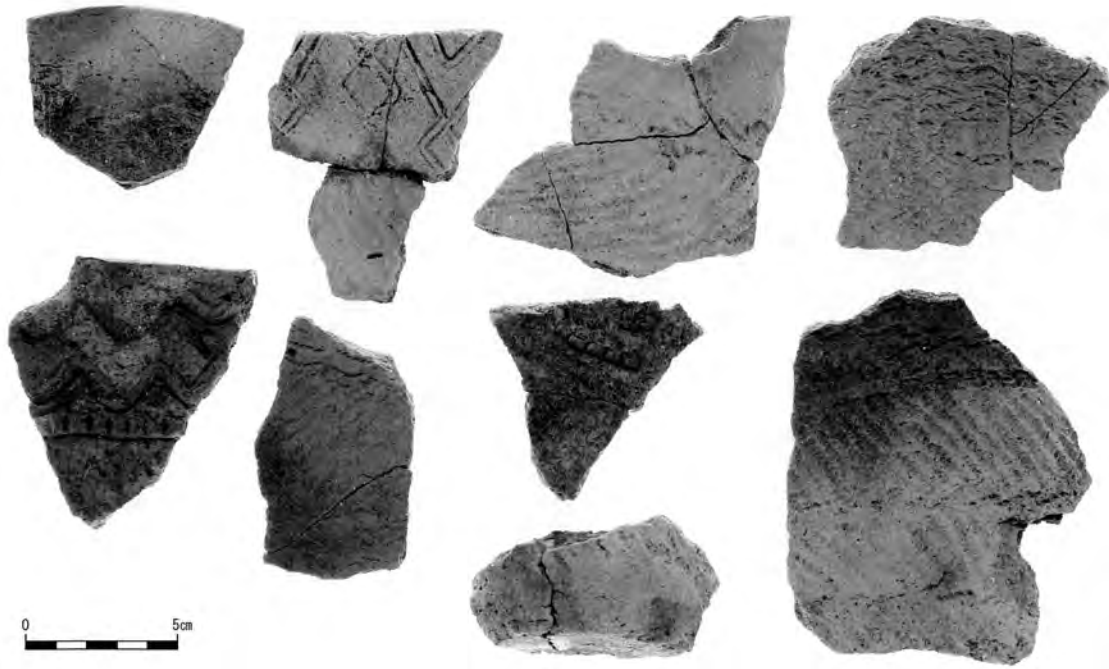


6 A区 調査状況（西から）

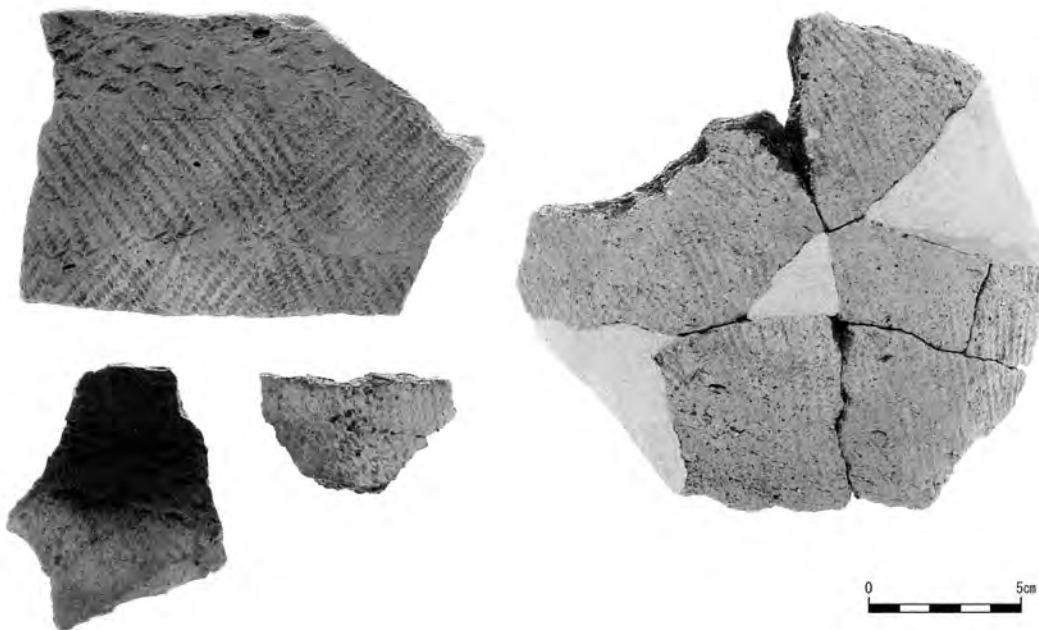


7 A区 完掘（西から）

写真図版 4
下大谷地VI



8 SK1号土坑跡 出土遺物 (1)



9 SK1号土坑跡 出土遺物 (2)

写真図版 5
下大谷地VI

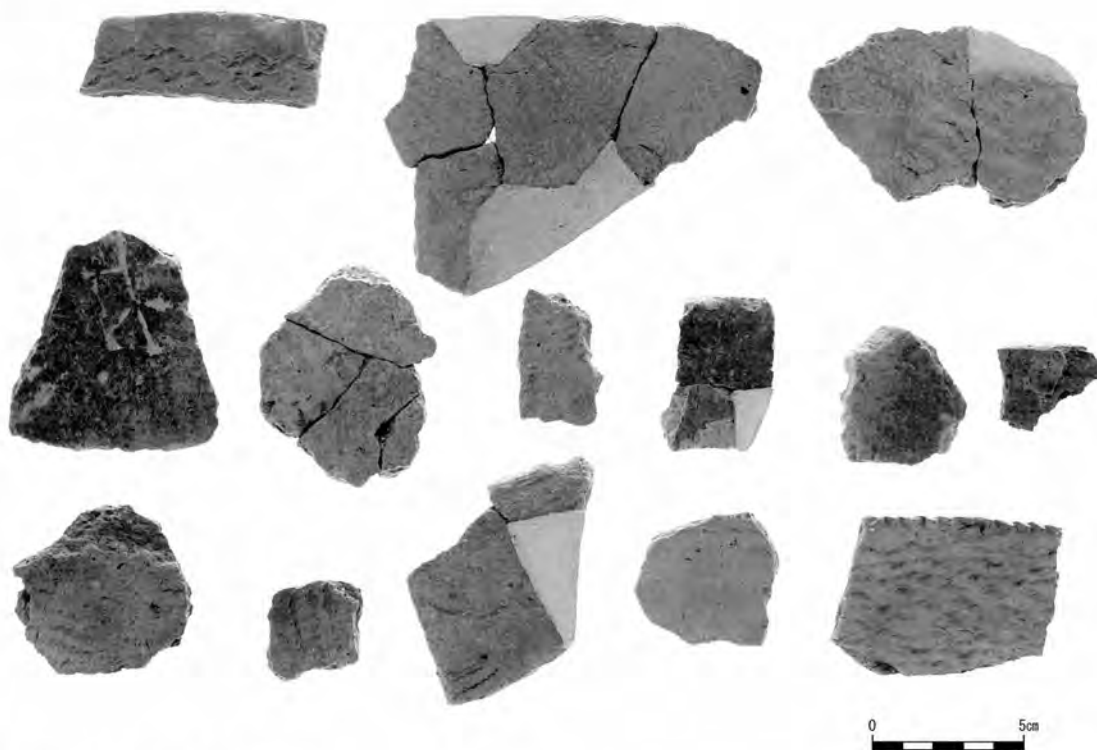


10 SK1号土坑跡 出土遺物(3)



11 SK1号土坑跡 出土遺物(4)

写真図版 6
大谷地 I 遺跡



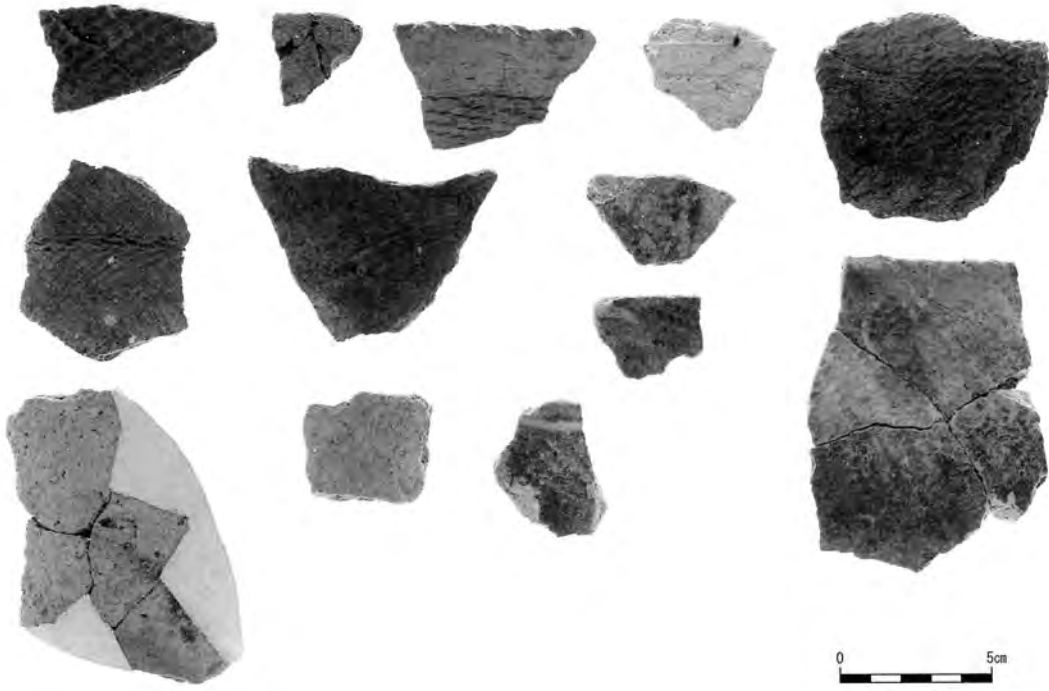
12 遺物包含層出土遺物 (1)-1



13 遺物包含層出土遺物 (1)-2

写真図版 7

大谷地 I 遺跡

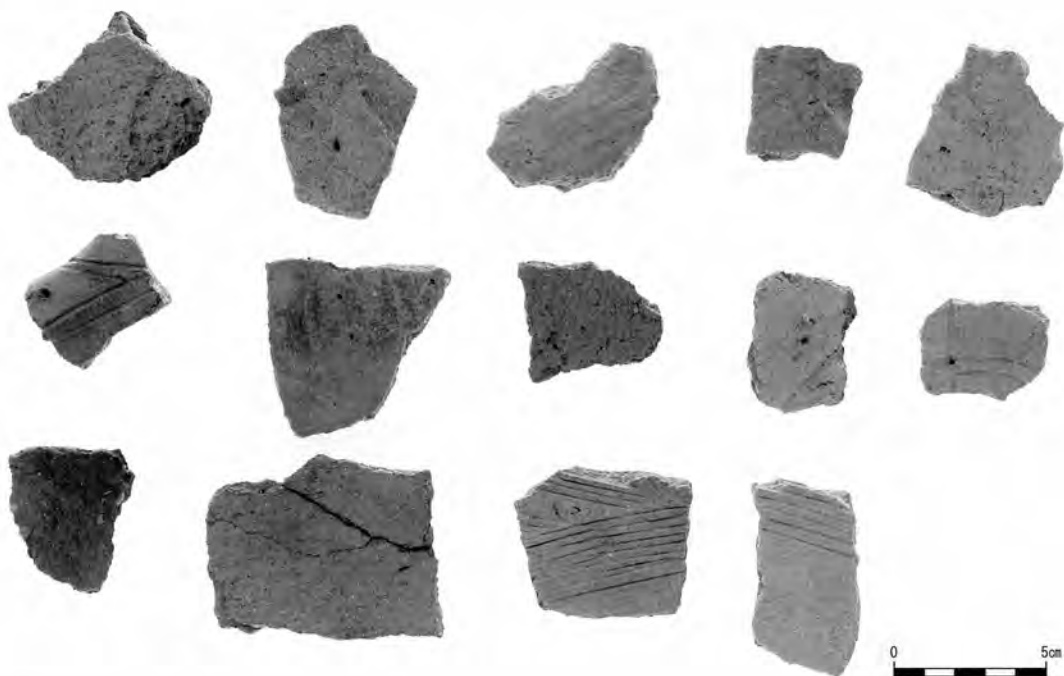


14 遺物包含層出土遺物 (2)-1

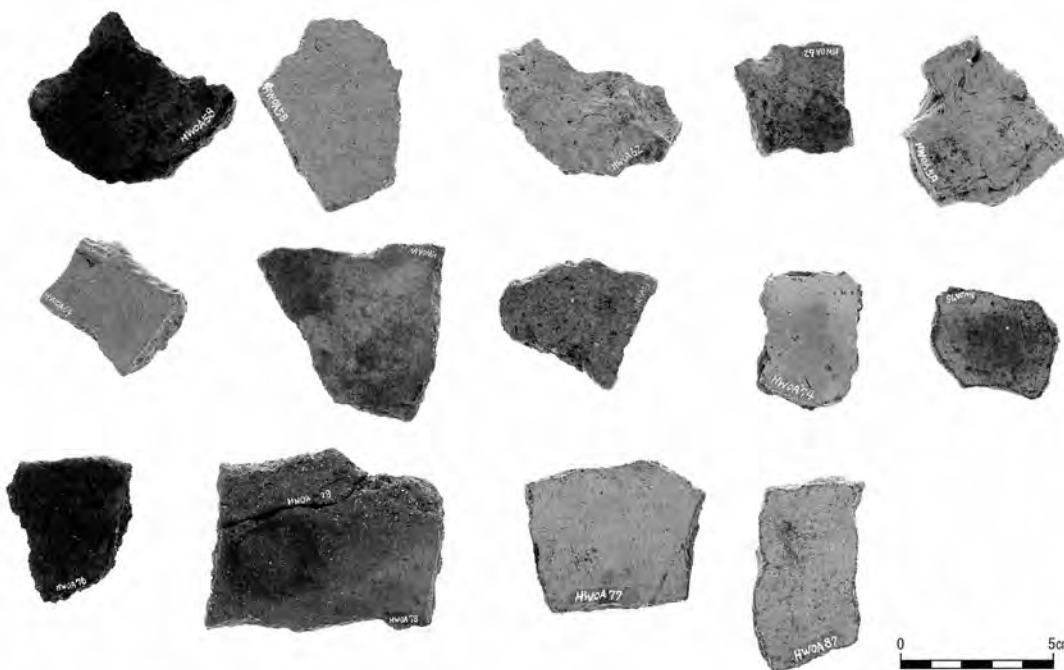


15 遺物包含層出土遺物 (2)-2

写真図版 8
大谷地 I 遺跡



16 遺物包含層出土遺物 (3)-1



17 遺物包含層出土遺物 (3)-2

報告書抄録

ふりがな	しもおおやち6いせき おおやち1いせき
書名	下大谷地VI遺跡 大谷地I遺跡
副書名	- 市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 -
巻次	
シリーズ名	宮古市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	90
編著者名	安原 誠
編集機関	宮古市教育委員会
所在地	〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1 TEL 0193-65-7527 FAX 0193-65-7508
発行年月日	平成29(2017)年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しもおおやち6いせき 下大谷地VI遺跡	いわてけん 岩手県 みやこしやぎわ 宮古市八木沢 だい ちわらちない 第9地割地内	03202	LG43- 2147	39° 35' 50"	141° 55' 15"	250401 ~ 250710	20	市道下大谷地 花輪線道路改 良事業
おおやち1いせき 大谷地I遺跡	みやこしはなわ 宮古市花輪 だい ちわらちない 第18地割地内	03202	LG43- 2143	39° 35' 49"	141° 55' 9"	260707 ~ 260731	58	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下大谷地VI遺跡	散布地	縄文	土坑跡	縄文土器・石器 土師器	縄文時代前 期の土坑跡
大谷地I遺跡	散布地	縄文	遺物包含層	縄文土器・石器	縄文時代前 期の遺物包 含層

宮古市埋蔵文化財調査報告書一覽

- 1 1979 『宮古市大付遺跡発掘調査報告書』
- 2 1980 『宮古市千徳遺跡発掘調査概報』
- 3 1983 『宮古市遺跡分布調査報告書1』
- 4 1984 『宮古市遺跡分布調査報告書2』
- 5 1984 『赤前遺跡群第1次・第2次発掘調査報告書』
- 6 1985 『宮古市遺跡分布調査報告書3』
- 7 1985 『金浜館跡発掘調査報告書』
- 8 1986 『宮古市遺跡分布調査報告書4』
- 9 1986 『宮古市遺跡分布図-昭和60年度版-』
- 10 1986 『中谷地・島田遺跡調査報告書』
- 11 1987 『崎山貝塚・トロノ木IV遺跡調査報告書』
- 12 1987 『寒風・早稲橋IV遺跡調査報告書』
- 13 1987 『崎山遺跡群I-昭和61年度発掘調査概報-』
- 14 1988 『青塚I・下在家II・千徳城遺跡群(場合館)』
- 15 1988 『崎山遺跡群II-昭和62年度発掘調査概報-』
- 16 1989 『千鶏遺跡-昭和62年度発掘調査報告書-』
- 17 1989 『トロノ木I遺跡-第1~7次発掘調査報告書-』
- 18 1989 『崎山遺跡群III-昭和63年度発掘調査概報-』
- 19 1989 『高根遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 20 1989 『狐崎II遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 21 1989 『崎山トロノ木IV遺跡-昭和63年度調査報告書-』
- 22 1990 『狐崎遺跡-平成元年度発掘調査報告書-』
- 23 1990 『崎山遺跡群IV-平成元年度発掘調査概報-』
- 24 1990 『磯崎館山遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 25 1990 『鍛ヶ崎館山貝塚-平成元年度発掘調査報告書-』
- 26 1991 『崎山遺跡群V-平成2年度発掘調査概報-』
- 27 1991 『青塚I・千徳城遺跡群-平成元年・2年度発掘調査報告書-』
- 28 1990 『熊野町遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 29 1991 『弘川I遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 30 1992 『金浜I遺跡(昭和58年度)・大付遺跡(平成2年度)発掘調査報告書』
- 31 1992 『重茂館遺跡群-第1次調査報告書-』
- 32 1992 『黒森町I遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 33 1992 『高根遺跡-平成3年度発掘調査報告書-』
- 34 1992 『鯉沢遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 35 1992 『大付遺跡-平成3年度発掘調査報告書-』
- 36 1992 『細越I遺跡・茅野II遺跡-農林課関係田代地区埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 37 1992 『崎山遺跡群VI-平成3年度発掘調査概報-』
- 38 1993 『萩沢II遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 39 1993 『早稲橋II遺跡-第1次・第2次発掘調査報告書-』
- 40 1993 『崎山遺跡群VII-平成4年度発掘調査概報-』
- 41 1994 『崎山遺跡群VIII-平成5年度発掘調査概報-』
- 42 1995 『赤前I牛子沢遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 43 1995 『磯崎館山遺跡発掘調査報告書』
- 44 1995 『崎山貝塚-範囲確認調査報告書-』
- 45 1995 『笹沢I・加村・仲組III・堺ノ神遺跡-市道浦の沢線改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 46 1995 『花原市遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 47 1995 『宮古市内遺跡発掘調査概報I 早稲橋II遺跡・崎山貝塚』
- 48 1996 『大付遺跡-平成5年・6年度発掘調査報告書-』
- 49 1997 『花原市遺跡-平成8年度発掘調査報告書-』
- 50 1997 『白石遺跡-第6次発掘調査報告書-』
- 51 1998 『赤畑・天神山・山口館-北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 52 1998 『藤畑遺跡-平成9年度発掘調査報告書-』
- 53 1999 『赤前III・赤前IV八枝田・赤前V柳沢・赤前VI釜屋ヶ沢・小堀内III遺跡-水産課津軽石環境整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 54 1999 『千鶏IV遺跡-水産課千鶏地区漁港漁村総合整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 55 1999 『崎山貝塚-第12次・13次内容確認調査概報-』
- 56 2000 『木戸井内II・木戸井内III・上村III遺跡-特別高压送電線7ヶ工業宮古支線新設工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 57 2002 『山口館跡-北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 58 2002 『小沢II大上遺跡-市内遺跡発掘調査報告書2-』
- 59 2003 『大又沢II遺跡-東北電力宮古へリポート移設工事関係発掘調査報告書-』
- 60 2003 『上根井沢I遺跡・沼里遺跡-市内遺跡発掘調査報告書3-』
- 61 2003 『早稲橋II遺跡第6次調査-市内遺跡発掘調査報告書4-』
- 62 2003 『下在家I遺跡-平成14年度発掘調査報告書-』
- 63 2004 『八木沢古館・平浜遺跡-市道伊崎線改良工事関係発掘調査報告書-』
- 64 2005 『弘川館跡-瑞雲寺裏庭整備関係発掘調査報告書-』
- 65 2006 『高浜VI地神遺跡-高浜四丁目宅地造成工事関係発掘調査報告書-』
- 66 2006 『崎山貝塚第20次調査・早稲橋II遺跡第7次調査-市内遺跡発掘調査報告書5-』
- 67 2006 『八木沢古館 八木沢中田遺跡 八木沢駒込I遺跡-市道岸ノ前ラントノ沢線道路工事関係発掘調査報告書-』
- 68 2006 『木戸井内IV遺跡-宮古市生活課市営火葬場整備事業関係発掘調査報告書-』
- 69 2006 『菅ノ沢遺跡発掘調査-市内遺跡発掘調査報告書6-』
- 70 2007 『山口館跡-市道北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 71 2007 『近内館跡-古都市計画課近内地区土地区画整理事業関係発掘調査報告書-』
- 72 2007 『牛沢遺跡・大付遺跡第11次調査-市内遺跡発掘調査報告書7-』
- 73 2007 『弘川館跡第2次調査-宗教法人瑞雲寺住宅建築工事地区発掘調査報告書-』
- 74 2008 『荷竹日向IV遺跡-市道向川原荷竹線道路工事関係発掘調査報告書-』
- 75 2008 『宮古市遺跡分布調査報告書5』
- 76 2009 『国指定史跡 崎山貝塚 第IV期内容確認調査概報(骨器器箱)』
- 77 2010 『宮古市遺跡分布調査報告書6』
- 78 2011 『宮古市遺跡分布調査報告書7』
- 79 2012 『重茂館遺跡群-第2次発掘調査報告書-』
- 80 2014 『八木沢駒込I遺跡・八木沢駒込II遺跡-市道磯崎金浜線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 81 2014 『蜂ヶ沢I遺跡・山口駒込I遺跡・山口駒込II遺跡-市道蜂ヶ沢線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 82 2014 『赤畑東遺跡-山口病院新棟建設工事関係発掘調査報告書-』
- 83 2015 『千徳城遺跡群-一条工務店ビル建設工事関係発掘調査報告書-』
- 84 2015 『黒森町I遺跡-宗教法人「先天大道一貫道日本總天壇」研修施設建設工事関係発掘調査報告書-』
- 85 2015 『菅ノ沢遺跡・備館I遺跡-市道長根岩船線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 86 2016 『千徳城遺跡群-アパート建築関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 87 2017 『重茂館遺跡群-重茂小学校仮設グランド整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-(第3次発掘調査)』
- 88 2017 『重茂館遺跡群-重茂漁港地区漁業集落防災機能強化事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-(第4次発掘調査)』
- 89 2017 『重茂館遺跡群-重茂漁業協同組合重茂給油所建設に伴う発掘調査報告書-(第5次発掘調査)』

宮古市埋蔵文化財調査報告書 90

下大谷地VI遺跡 大谷地I遺跡

-市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-

発行 平成29(2017)年3月31日
 宮古市教育委員会
 〒028-2101 岩手県宮古市茂市2-112-1

編集 宮古市教育委員会文化課
 〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1
 TEL 0193-65-7527 Fax 0193-65-7508

印刷 株式会社文化印刷
 〒027-0037 岩手県宮古市松山5-13-6
 TEL 0193-62-4578 FAX 0193-64-0333

